

つなぐカードの使い方

つなぐカードとは

つなぐカードは、適切な相談窓口へ相談者をつなぐための連携ツールです。

利用するメリット

①相談者に紹介先が確実に伝わる。

相談者がどこへ相談すればよいのかひと目でわかります。

②紹介元と紹介先の機関で情報共有できる。

相談者が相談の度に説明を繰り返すことやたらい回しにされていると感じさせることを防ぎます。紹介元と紹介先で連携して支援することも可能となります。

③丁寧なつなぎが、相談者の安心になる。

相談には、エネルギーや勇気がいります。丁寧につなぐことで、相談者は安心して次の相談先に相談することができます。

どのように使うの？

「悩みを持つ方への相談窓口一覧」(アルコール健康障害救急医療連携マニュアル：資料13、14)等を参考に
ご紹介ください。

①相談を受け、適切な機関につなぐ必要があると判断した場合、相談者にカード利用の同意を得る。

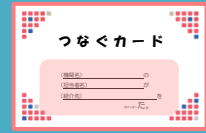
②紹介元の機関が、必要事項を記入し、相談者にカードを渡す。



③紹介元の機関は、紹介先の機関に情報提供する。



④相談者は紹介先の機関にカードを渡す。



つなぐカード

(機関名) _____ の
(担当者名) _____ が
(紹介先) _____ を
紹介しました。

つなぎ先の機関の方へ

情報提供・情報共有については、
相談者から了解を得ています。
何かご不明な点がございましたら、
(紹介元電話番号) _____
までお問い合わせください。

相談者が紹介先の機関と支援関係を築きやすいような対応に心掛けましょう。その心掛けのひとつとして「つなぐカード」をご利用ください。

